



Yasumasa Ishikawa

石川 育成 さん

市医師会会長などとして救急医療と検診事業を強化。特に市夜間急患診療所の充実に努めるとともに災害時医療救護体制を確立。また市学校保健会会長として児童生徒の健康管理に努めたほか、市医師会付属の看護学院長として看護師育成に貢献（昭和5年生まれ・東新庄二丁目在住）

救急医療体制の整備と地域保健の向上

市に夜間急患診療所がない頃、夜間に多くの急患が受診する病院では、入院患者を診るための当直医が外来対応に迫われ、一睡もできず疲弊。その状況を打開する必要がある、夜間急患診療所開設への足掛かりをつくりました。また、昭和62年に移転する際は管理者として、熱を出した子と心配する保護者の助けになればと設備をより充実させました。東日本大震災のような災害時には、医療機関を結ぶ医師会が中心となって動かなければなりません。助けを求める現場に必要な支援を素早く届けるんだという使命感でやってきました。それに応えてくれた周囲にも感謝しています。



Akira Iwashimizu

岩清水 晃 さん

南部鉄器協同組合理事長などとして業界をけん引し、技術の継承と生産基盤の維持などに努め、その振興に貢献。また市工業振興懇話会委員として、市工業振興ビジョンの策定に取り組むなど、本市の工業振興に大きな役割を果たした（昭和18年生まれ・館向町在住）

南部鉄器業界の振興と産業の活性化

昔はどの家庭も鉄瓶で湯を沸かしていましたが、時代と共に鉄器が使われなくなり、業界として厳しい時期がありました。そのうえ後継者の問題もあり、400年の歴史がある南部鉄器の伝統をどのように維持していくのかと憂慮。ところが、海外で南部鉄器がブームになり、再び見直されてきています。そして最近では、市外で働いていた跡継ぎたちが家業に携わり、一緒に作品展を開くなど活発に活動しています。若い世代ががんばっている姿を見ることができて、本当にうれしいです。100年先まで南部鉄器が継承されるよう、伝統を守りつつ、時代に合った道筋をつけていきたいですね。

29年度市勢振興功労者

市勢の発展に尽くした功績を表彰

本年度の市勢振興功労者に石川育成さん、岩清水晃さん、高橋克彦さんの3人と紺屋町番屋保存・活用委員会の1団体を選ばれました。市勢振興功労者表彰は、公共の福祉の増進と市勢の進展に尽くした功績が顕著な人または団体を顕彰するもので、市で最高の荣誉ある表彰として位置付けられています。受章者

は、市表彰条例に基づき、学識経験者や市議会議員などで構成する市表彰選考委員会の答申を受けて決定されます。昭和30年に始まり、本年度の受章を含め、これまでに312人と24団体を表彰。表彰式は11月3日(金)、愛宕町の中央公民館で行います。【問】総務課☎626-7513【広報ID】1021192



Katsuhiko Takahashi

高橋 克彦 さん

盛岡文士劇復活の発起人であり、その後も座長として舞台の維持・発展に寄与するなど盛岡の文化振興に尽力。また作家として岩手の歴史を題材とした小説を多く執筆。数々の文学賞を受賞し、日本の文学界をリードする存在（昭和22年生まれ・緑が丘二丁目在住）

芸術文化の継承と振興

幼少期に観賞した盛岡文士劇と、若い頃テレビ放映され作家として舞台に立つことが憧れだった東京文士劇。この印象が私の中に強くあり、盛岡文士劇を復活させるという話を聞いた時は一も二もなく協力しました。座長として20年以上継続できているのは、絶え間なく文化人が誕生する盛岡の風土や協力団体などの支えがあってこそ。自分の功績といわれると少し面はゆい感じもします。交通機関の発達で東京との距離が近くなり、盛岡で暮らし、刺激を受けながら物語を書けることは大きな幸せです。これからも執筆活動を中心に盛岡の文化振興に携わっていきたいですね。



KonyachoBanya Protection and Usage Committee

紺屋町番屋保存・活用委員会

平井興太郎 会長
市保存建造物の紺屋町番屋（明治24年建設、大正2年改築）の保存・活用と継承に寄与。構成員である紺屋町町内会と消防団第5分団は、鍛冶町紙町丁印*の復元に尽力※藩政時代の盛岡八幡宮例大祭で、各町内から山車と共に参加した屋根付きの担ぐ屋台。形態を留めているのは市内に2台のみ

歴史的建物の保存・活用と地域活性化

市消防団第5分団の屯所として長年使われてきた紺屋町番屋が平成17年、新屯所完成に伴い空き家となりました。消防団としての思い入れも強く、町内会としても地域の象徴的な建物を次世代へ残そうと考え、20年4月に同委員会を設立。地権者71人全員の同意を得るのに数年かかったものの、市に寄付する形で保存することができ、また、丁印の復元・保存も多くの力添えがあり成し遂げられました。紺屋町周辺は歴史的な建物が点在し観光客も多く、同番屋も修学旅行生などの見学ポイントになっています。今後も地域内外の人と協力しながら、にぎわいを生み出す活動を続けていきます。

平成28年度

盛岡市の決算

一般会計

福祉や教育、都市整備など、市の主なお金の出し入れをしています。28年度の決算は、歳入から歳出を差し引いた13億8417万円から、29年度へ繰り越した事業の財源2億8156万円を差し引いた実質収支で、11億261万円の黒字になりました。

歳入

27年度に比べて、市税の納付額や公共施設の長寿命化対策のための財政調整基金からの繰入金などが増え、市債の借り入れや地方交付税などが減ったことにより、総額では15億4029万円の減になりました。

歳出

27年度に比べて、認定こども園の運営費や積立金など民生費と総務費が増え、道路工事や土地区画整理、土淵小・中一貫教育導入施設整備に係る工事の一部完了などで土木費と教育費が減ったことにより、総額では9億3565万円の減になりました。

市税	427億7354万円 (37.8%)
国庫支出金	202億6663万円 (17.9%)
地方交付税	147億1967万円 (13.0%)
市債	110億9587万円 (9.8%)
県支出金	73億6722万円 (6.5%)
地方消費税交付金	52億5037万円 (4.6%)
繰入金	23億6802万円 (2.1%)
繰越金	19億8881万円 (1.8%)
その他	72億 652万円 (6.5%)
計	1130億3665万円 (100%)

民生費	439億6827万円 (39.3%)
総務費	154億8024万円 (13.9%)
土木費	151億 679万円 (13.5%)
公債費	124億8123万円 (11.2%)
教育費	83億5775万円 (7.5%)
衛生費	77億 635万円 (6.9%)
消防費	38億9300万円 (3.5%)
農林費	25億3941万円 (2.3%)
その他	21億1944万円 (1.9%)
計	1116億5248万円 (100%)

市民1人当たりで見ると…
※いずれも年額

個人市民税	5万5458円
固定資産税	5万7758円
都市計画税	7154円
その他	9377円
計	12万9747円

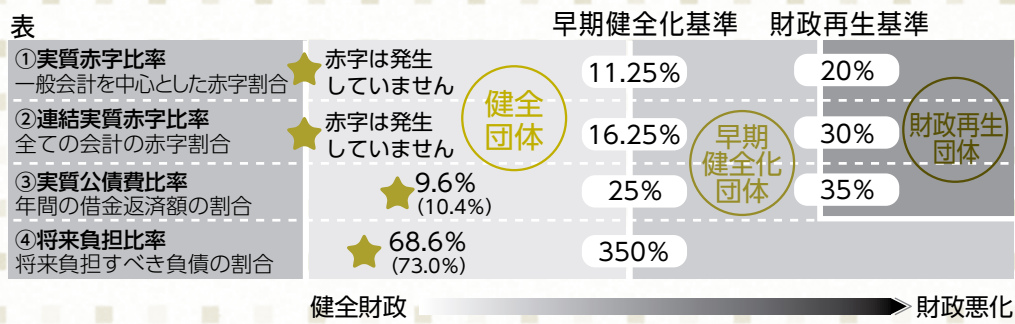
民生費	15万 569円
総務費	5万3012円
土木費	5万1733円
公債費	4万2742円
教育費	2万8621円
その他	5万5676円
計	38万2353円

特別会計

国民健康保険費や介護保険費など、特定の財源で事業を運営しています。

■特別会計		(▲はマイナス)
特別会計名	歳出決算額	前年度との比較増減
国民健康保険費	310億5869万円	▲7億7354万円
介護保険費	240億4842万円	6億2626万円
後期高齢者医療費	28億6337万円	8756万円
中央卸売市場費	15億8442万円	▲1555万円
農業集落排水事業費	5億2325万円	▲201万円
土地取得事業費	1511万円	▲9849万円
母子父子寡婦資金貸付	2933万円	▲564万円
公設浄化槽事業費	818万円	▲1477万円
東中野財産区など	365万円	82万円
計	601億3442万円	▲1億9536万円

財政指標 (財政健全化判断比率)



市は、市税や地方交付税などを財源にして予算を編成し、市民生活の向上と快適なまちづくりに取り組んでいます。28年度決算がまとまったので、概要をお知らせします。【問】財政課☎613-8362【広報ID】1010723

市の歳入と歳出を家計に例えると？

市税による収入を年収360万円（基本給月額30万円）の家計に例えて、それぞれを家計の項目（年額）に置き換えています。

基本給（市税）	360万円
親からの支援（国・県支出金）	233万円
諸手当（地方交付税や交付金）	179万円
自動車など購入のための借金（市債）	93万円
自宅の部屋を賃貸し（使用料など）	17万円
古本を売却（財産収入）	6万円
預金の取り崩し（繰入金）	20万円
その他	42万円
計	950万円

食費などの生活費（人件費）	130万円
医療費・健康保険（扶助費）	250万円
自動車などの購入（普通建設費）	112万円
日用品の購入（物件費）	111万円
ローンの返済（公債費）	105万円
町内会費や生命保険（補助費）	108万円
子どもへの送付（繰入金）	81万円
預金	29万円
家や自動車の修理（維持補修費）	8万円
その他（災害復旧・貸付金など）	6万円
計	940万円

市債残高は1319億7001万円で、27年度に比べ1億2608万円減になりましたが、人口減の影響により、市民1人当たりの借金は45万1930円（28年度末時点）と27年度に比べ1059円の増となりました。



市長コラム No.8

守・破・離

守破離とは、師の教えを守って基礎をつくり、徐々に自分の色を出し、最後は自らの道を見つけていくという意味で、私の座右の銘でもあります

気分転換していますか？

盛岡市長 谷藤 裕明

皆さんは日々の生活の中で上手に気分転換していますか？ 私はたまの休みには畑に出掛けてみます。最近はジャガイモを収穫。黙々と土いじりをしたり、手を休めて岩手山を眺めたり、いつもの仕事とは違う非日常を過ごすことでリフレッシュできています。頭の切り替えにもなりますので、皆さんにもたまにいつもの生活とは違うことをしてみるのをお勧めしたいです。

さて、来月には私も出演する盛岡文士劇があります。台本も届き、少しずつ準備を進めています。舞台に立つことも私にとっては非日常。どんな舞台になるか今から楽しみです。

